

平成20年度 水稻関係生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度水稻関係生育調節剤試験成績
検討会は、平成20年12月5日、植調会館会議
室(東京都台東区)において開催された。

本年は、健苗育成等を目的としたもの3剤(作
用性1点、適用性7点)、

登熟向上を目的としたもの2剤(適用性6点)、
倒伏軽減を目的としたもの3剤(適用性10点)
について試験成績の報告および検討が行われ
た。

薬剤別の判定結果は、次表の通りである。

平成20年度 水稻関係生育調節剤試験供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成等〉

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	NGR-073 粒剤 イゾプロチオラン:12.0% クロントラニプロール:0.75% 〔日本農薬〕	〔適用性〕 根の伸長および発根 促進効果の検討	宮城古川農試 新潟農総研 滋賀農技セ 植調岡山	実・継	・使用基準 育苗時の根の伸長および 発根促進 処理時期:緑化始期 使用量:50g/育苗箱 処理方法:育苗箱の苗の 上から均一散布	年次変動による効果、薬 害の確認
2	RIC-1 液剤 海藻ホモンネート 〔ロイヤル・インダストリーズ〕	〔作用性〕 苗質への影響の確認	兵庫農技セ	-		使用方法の検討、効果発 現条件の解明
3	SH-0602 液剤 トロキシノキサゾール: 16.5% (水溶性リン酸:18%, 水 溶性カリ:20%) 〔三共アグロ〕	〔適用性〕 根の生育促進、移植 時の発根および活着 促進	植調北海道 新潟農総研 植調岡山	実・継	・使用基準 移植時の発根および活着 促進効果の確認 処理時期:播種時〜緑化 始期 使用量:500倍液、 500〜1000ml/育苗箱 処理方法:土壌灌注	年次変動による効果の確 認

〈登熟向上等〉

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	NGR-072 粒剤 イゾプロチオラン:12% エチプロール(殺虫剤): 1.5% 〔日本農薬〕	〔適用性〕 登熟向上の確認	植調福島 新潟農総研 植調牛久 宇都宮大学	実・継	・使用基準 登熟向上 処理時期:出穂前10〜20 日 処理量:4kg/10a 処理方法:湛水散布	年次変動による効果の確 認
2	イゾプロチオラン 粒剤 (フジワン粒剤) イゾプロチオラン:12% 〔日本農薬〕	〔適用性〕 登熟向上の確認(高 温登熟下での登熟向 上、品質向上の確認)	新潟農総研 植調牛久	実・継 (過年度 通り)	・使用基準 登熟向上 処理時期:出穂前10〜20 日 処理量:4kg/10a 処理方法:湛水散布	(高温登熟下での登熟向 上、品質向上の確認とし て) 年次変動による効果の確 認、 白未熟粒の発生低減効果 の確認

〈倒伏軽減〉

No.	薬 剤 名 有効成分及び含有率 〔委託会社名〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SSDF18 粒剤 ウニコザールP:0.004% (N-P-K:18-12-12) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果および 薬害の検討	植調牛久 植調竜ヶ崎 兵庫農技セ	実・継	・使用基準 節間短縮による倒伏軽減 処理時期:耕起～代かき 時 使用量:22.5～30kg/10a 処理方法:基肥として全層 混和处理	年次変動による効果、薬 害の確認
2	SSDF20W 粒剤 ウニコザールP:0.003% (N-P-K:20-12-12) 〔住友化学〕	〔適用性〕 倒伏軽減効果および 薬害の検討	植調牛久 植調竜ヶ崎 兵庫農技セ	実・継	・使用基準 節間短縮による倒伏軽減 処理時期:移植時 使用量:22.5～30kg/10a 処理方法:基肥として移植 時側条処理	年次変動による効果、薬 害の確認
3	SSDF27 粒剤 ウニコザールP:0.004% (N-P-K:27-10-7) 〔住友化学〕	〔適用性〕 側条施用による倒伏 軽減効果および薬害 の検討	植調岩手県南 植調秋田 植調牛久 植調竜ヶ崎	実・継	・使用基準(側条施用として) 節間短縮による倒伏軽減 処理時期:移植時 使用量:15～30kg/10a 処理方法:基肥として移植 時側条処理	年次変動による効果、薬 害の確認